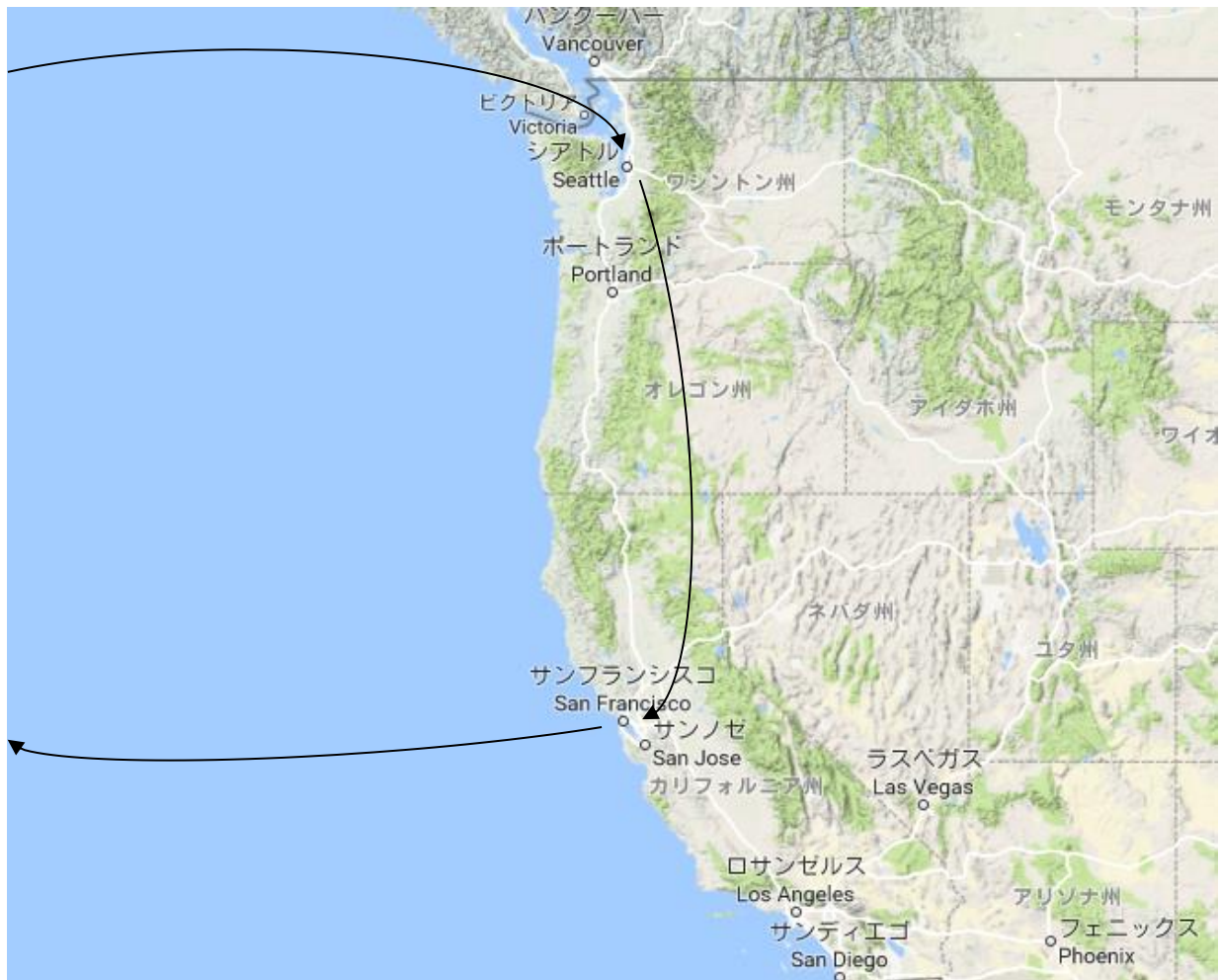


富山経済同友会
第8回（平成30年度）海外教育事情視察
募集要項

海外視察先：アメリカ合衆国（西海岸）

視察期間：平成30年9月17日（月）～9月24日（月） <8日間>



富山経済同友会では、教員の皆さんを対象に、海外で先進的に取り組まれる教育現場や教員養成の実情などを視察し、その経験を帰国後の学校現場で役立てていただくことを目的に、平成20年から「海外教育事情視察」を実施しております。

視察には、当会メンバーも参加し、教員の皆さんとの交流を通じて、県民みんなで育てる学校教育の推進に貢献したいと考えています。

富山県の教育を担う、高い志を持った多くの教員の皆さんのご参加をお待ちしております。

主催：富山経済同友会

後援：富山県教育委員会

富山経済同友会 第8回（平成30年度）海外教育事情視察 実 施 要 項

1 訪問国 アメリカ合衆国西海岸（シアトル、サンフランシスコ）

2 視察期間 平成30年9月17日（月）～9月24日（月）までの8日間

3 視察目的（テーマ）

- （1）富山県の現役教員がアメリカ合衆国西海岸（シアトル、サンフランシスコ）における教育、芸術、歴史・文化や社会事情などを視察することにより、教員としての視野を広げ今後の教育実践に役立ててもらうとともに、人間力・教育力を向上させ、富山県教育をリードする中核的な教員となるよう育成を図る。
- （2）企業経営者である当会会員も視察に参加することにより、教員と問題意識を共有し、経済界と学校教育との交流や連携を図る。

4 視察日程

別紙1のとおり

（視察等の日程や交通機関、発着時刻は変更になる可能性があります。）

5 募集の対象者及び人数

富山県内の公立学校教員 8名程度

※ 富山経済同友会の会員と合同で視察します。

6 費用

別 途

7 申込、選考等

- ・ 所定の参加申込書（別紙2）に必要事項をご記入のうえ、富山経済同友会事務局宛に郵送ください。なお、申込用紙は、富山経済同友会ホームページからダウンロードできます。
申込締切 … 平成30年5月23日（水）〈厳守〉
- ・ 提出された参加申込書に基づき、今回の視察研修にふさわしい方を書類選考いたします。選考結果は、**6月中旬**に本人あて通知いたします。
なお、書類選考の結果、募集人員に満たない場合があります。
- ・ 参加決定者には、スケジュールの詳細を送付するほか、説明会を開催いたします。

【申込書送付及び問合せ先】

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階
富山経済同友会 事務局 海外研修担当 行
TEL 076-444-0660
FAX 076-444-0661

第8回 海外教育事情視察 日程表 (案)

日次	月日 (曜)	地 名	現地時間	交通機関	スケジュール	【宿泊地】	食 事
1	9/17(月)	富山空港発 羽田空港着 羽田空港発 成田空港着 成田空港発	9:35 10:45 11:15 12:30 18:15	ANA316 専用車 NH178	成田空港へ移動 空路、シアトルへ	【シアトル泊】	昼: 夕: 機内
		シアトル着	11:25	専用車	<日付変更線通過> 企業視察		朝: 機内 昼: — 夕: ○
2	9/18(火)	シアトル	午前	専用車	学校視察・企業視察	【シアトル泊】	朝:ホテル 昼: ○ 夕: ○
			午後		学校視察・企業視察		
3	9/19(水)	シアトル	午前	専用車	学校視察・企業視察	【サンフランシスコ泊】	朝:ホテル 昼: ○ 夕: 軽食
		シアトル発 サンフランシスコ着	18:07 20:29	UA214	シアトル市内視察 空路、サンフランシスコへ		
4	9/20(木)	サンフランシスコ	午前	専用車	学校視察・企業視察	【サンフランシスコ泊】	朝:ホテル 昼: ○ 夕: ○
			午後	専用車	学校視察・企業視察		
5	9/21(金)	サンフランシスコ	午前	専用車	学校視察・企業視察	【サンフランシスコ泊】	朝:ホテル 昼: ○ 夕: ○
			午後	専用車	学校視察・企業視察		
6	9/22(土)	サンフランシスコ	終日	専用車	サンフランシスコ市内視察	【サンフランシスコ泊】	朝:ホテル 昼: ○ 夕: ○
7	9/23(日)	サンフランシスコ サンフランシスコ発	12:15	専用車 NH7	サンフランシスコ国際空港へ移動 空路、帰国	【機内泊】	朝:ホテル 昼: 夕:機内
					<日付変更線通過>		
8	9/24(月)	成田空港着 成田空港発 羽田空港着 羽田空港発 富山駅着	15:25 16:30 17:45 19:50 20:45	専用車 ANA321	羽田空港へ移動 空路、富山へ		朝:機内 昼:— 夕:—

ご注意：発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。なお、視察地は例示です。

アメリカ合衆国の教育事情 (外務省ホームページ「諸外国・地域の学校情報」より)

ワシントン州	
●現地の教育の概要と特色	
学校制度	<p>居住地の学区(School District)により差異があるため、該当学区や学校のウェブサイトなどを参照</p> <p>Kindergarten: 1年</p> <p>Elementary Education: 5年または6年 (学区により異なる)</p> <p>Secondary Education: Middle School (Junior High) 2年か3年、High School 3年か4年</p> <p>Postsecondary Education(College, University): 2年または4年</p> <p>Graduate Education: Master's degree, Doctorate</p>
義務教育期間	5歳～18歳
学校年度	9月1日～8月31日
学期制	<p>居住地の学区(School District)により差異があるため、該当学区や学校のウェブサイトなどを参照</p> <p>【3学期制】(学区により異なる)</p> <p>Fall 学期 9月～12月</p> <p>Winter 学期 1月～4月</p> <p>Spring 学期 4月～6月</p> <p>Year Round School: 無</p>
就学年齢基準日	<p>その年の8月31日までに満6歳になる者は、同年の9月に小学校1年生となる</p> <p>(州の標準的な事例。学区により異なる)。</p>
教育概要・特色	教育者及び生徒、保護者、コミュニティー、政府がともに協力して義務教育の運営を行う。
●現地の学校段階別教育の概況	
1. 就学前教育	
<p>Pre-school(プレスクール)</p> <p>義務無し。その年の8月末日で3歳に達している子供が対象。私立のみであり、それぞれが独自のシステムで運営。通学日も半日制や全日制など多様。</p>	
2. 義務教育	
<p>【基本的な教育目標】 責任感と礼儀をわきまえた国際人となる機会を与える。家族や地域の発展に貢献でき、異なる視点を理解し、生産的で満足のいく人生を送れる機会を与える。(ワシントン州法より抜粋 RCW28A.150.210 Basic Education Act, Goal)</p> <p>【年齢・期間】 満5歳(kindergarten)。9月に入学。</p> <p>【標準的な年間授業日数】 約180日</p> <p>【学校運営経費の原資】 州 65% 地方税19%、国 13% その他 1% (by OSPI)</p>	

<p>義務教育の学校段階 種類および就学状況</p>	<p>幼稚園: 5歳～6歳、就学義務有り 小学校: 6歳～11歳、1年生～5年生、就学義務有り 中学校: 11歳～14歳、6年生～8年生、就学義務有り 高校: 14歳～18歳、9年生～12年生、就学義務有り</p>
<p>カリキュラム・教授言語</p>	<p>【標準的な授業教科】 ワシントン州は全米45州と共に Common Core を導入。 www.k12.wa.us/Corestandatds 参照 美術・経済・保健・歴史・音楽・体育・英語・科学・社会・コンピューターサイエンス・外国語 など 【教授言語】基本は英語であるが、英語以外の外国語、バイリンガル・イマージョン教育も盛ん。 【州による統一学力試験の実施学年と時期】Smarter Balanced Field Test 3年から8年通年 Measurements of Student Progress (MSP) 5年から8年生まで毎年春 High School Proficiency Exam (HSPE) 高校生対象 春 変更されることもあるので、OSPIウェブサイト内 StateTesting 参照 【州による12年生の卒業試験の有無】 実施時期・受験時期: End-of-Course (EOC) Exam 7-12年生対象 春 【High School Diploma を取得するための条件】 20単位取得、州指定のテストに合格する、卒業プロジェクトを完成させる、 高校在学中と卒業後のプランを立てる、等 OSPIウェブサイト内 Graduation Requirements 参照</p>
<p>義務教育段階の学費</p>	<p>なし(終日キンダーガーデンの場合は自己負担が生じる場合もあり)</p>
<p>スクール インフォメーション</p>	<p>【年間の授業日数】 約180日 【学年ごとの年間授業時間数】 約1,000時間 【通学方法】 スクールバス、親の送迎等</p>
<p>3. 義務教育以降</p>	
<p>学校段階・種類</p>	<p>コミュニティー・カレッジ (Community College) 2年制 テクニカル・カレッジ (Technical College) 2年制 カレッジ (College) 4年制 ユニバーシティー (University) 4年制 大学院 修士課程、博士課程</p>
<p>進学状況</p>	<p></p>

カリフォルニア州	
●現地の教育の概要と特色	
学校制度	Elementary Education: 5 年 Middle School Education: 3 年 High School Education: 4 年 Postsecondary Education(College, University): 4 年
義務教育期間	【義務教育期間】 1 年生～12 年生 【公費による教育が受けられる期間】 Kindergarten～12 年生
学校年度	8 月下旬～6 月中旬 学校区により相違あり。
学期制	【2～4 学期制】 (学校区により相違あり) 2015-2016 1(秋)学期: 8 月 18 日～12 月 19 日 2(春)学期: 1 月 3 日～5 月 29 日 Year Round School: 有
就学年齢基準日	小学校の始業する月に満6歳になっていなければならない。2014年～2015年度では、2014年9月1日又はその前に満6歳になっていなければならない。(就学年齢基準日移行期間中)カリフォルニア州教育法参照 (California Education Code Section 48010) http://www.leginfo.ca.gov/cgi-bin/displaycode?section=edc&group=48001-49000&file=48010-48011
教育概要・特色	
●現地の学校段階別教育の概況	
1. 就学前教育	
Kindergarten が公立小学校に併設されている。	
2. 義務教育	
年齢・期間: 6 歳～18 歳 標準的な学級ごとの生徒数: 1 年～3 年生まで 20 人。4 年生以降 30 人。 標準的な年間授業日数: 180 日 学校運営経費の原資: 連邦 10.7%、加州 55.7%、郡 32.3%、宝くじ収益 1.4% (2012～2013)	
義務教育の学校段階種類および就学状況	6 歳～10 歳、1 年生～5 年生 11 歳～13 歳、6 年生～8 年生 14 歳～17 歳、9 年生～12 年生
カリキュラム・教授言語	標準的な授業教科: 英語、数学、社会学、米国歴史及び地理、世界史、文化、地理、アメリカ政府、経済、生物、自然科学、体育、外国語 州による統一学力試験の実施学年と時期: 2 年生～11 年生 毎春

	<p>州による 12 年生の卒業試験の有無・実施時期・受験時期: 有 10 年生の第 2 学期以降から卒業の間に合格するまで。(試験回数 6 回。英語と数学)</p> <p>High School Diploma を取得するための条件: 英語(3 年間)、数学(2 年)、社会学、(3 年 米国歴史及び地理、世界史、文化、地理を含む)、アメリカ政府(1 学期)、経済(1 学期)、科学 2 年(生物、自然科学)、体育 2 年、外国語 1 年 又は視覚・舞台芸術</p>
義務教育段階の学費	<p>【授業料】 無料</p>
スクール インフォメーション	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の授業日数: 180 日 ・学年ごとの年間授業時間数: ・1~3 年生: 50,400 分(840 時間) ・4~8 年生: 54,000 分(900 時間) ・9~12 年生: 64,800 分(1,080 時間) ・標準的な 1 学級の人数: 3 年生まで 20 人 4 年生以降 30 人 ・教員 1 人に対する生徒数の比率: 1:22.09 ・通学方法: 学校、学校区により差異あり。徒歩、公共交通機関利用、スクールバス利用。
3. 義務教育以降	
学校段階・種類	
進学状況	